

# 出版本のご案内

ISBN 978-4-904840-00-9



## 第一章 国体論と主権論

### 第一節 尊皇運動の系譜

山鹿素行／赤穂事件の概要／王霸の弁え／  
皇道と士道／赤穂事件の背景／赤穂事件の真相  
皇道忠臣蔵／中朝事実／クーデター／  
敬神党の乱／二・二六事件／輔弼と輔翼／  
天皇機関説論争／頭教と密教／鈴木マジック／  
天皇の側からのクーデター／  
二・二六事件の收拾処理／  
大東亜戦争の敗戦処理／維新

### 第二節 伝統と革命

動的平衡／雛形理論／礼楽の振動的平衡／  
宗教団体と宗教法人／国家における祭祀と統治  
擬似祭祀と国教／祭祀と宗教／雛形と偶像崇拜  
祖先と宗教／国家の概念／国家の連結／  
国家の誕生／国家の承認／国家の承継／  
国体の固有性／理性論による帰結／  
本能論と理性論／  
フランケンシュタインの理想的人間／  
家族主義と個人主義／近親相姦と近親婚の禁忌  
本能強化教育／本能と規範／世襲／革命国家／  
革命と占領統治

### 第三節 基本概念

成立要件と効力要件／行為規範と評価規範／  
最高規範と根本規範／社会契約説と天賦人權説  
世界革命思想の構造／全体主義／  
憲法制定権力と法実証主義／  
自然法学と実証法学

## 第四節 国体と主権

文化国体と規範国体／  
英国における国体論と主権論／  
国民主権の道案内としての国王主権／  
イエス殺しの思想／国民主権と立憲主義の相克  
／  
子孫を不幸にする国民主権／  
民主主義と自由主義の相克／  
ルソーの正体とその影響／主権論争／  
国体の規範的根拠

## 第五節 国体の本義

国体論争／資本主義と共産主義／  
国家の本能総体としての国体／国体の様相／  
老人福祉と孝行／国体の形成過程／  
反本地垂迹説／稲作漁労文化と国体／  
規範国体と成文法との関係／根本規範

別紙一『V字型世界思想構造図』

編集あとがき

